

# 目次

---

## 〈巻頭論文〉

HIV/AIDS の社会言語論的展開	仲尾唯治	1
--------------------	------	---

## I 《焦点1》健康格差社会へのアプローチ

1. 健康格差——保健医療行動科学の位置づけと課題——	近藤克則	16
2. 外国人医療の現場から——グローバルズムの被害者たちへ——	高山義浩	29
3. 障害（先天性呼吸器障害）をもつ子どもの介護 ——障害者当事者のネットワークづくり——を通して	高橋昭彦	37
4. 聴覚障害者の権利擁護と手話通訳者自身の健康問題	利根川 圓	44
5. 発達障害をもつ成人の支援に関する報告	矢崎貴恵	51

## II 《焦点2》健康支援へのアプローチ

1. 快適な食生活を保つために——口腔ケア——	牛山京子	56
2. 失語症って知っていますか？	平澤哲哉	62
3. 「参加・体験のある授業」ってなあに？	岩間千恵	72

## III 《焦点3》市民公開講座から

色平哲郎と古屋聡でコーディネートする 保健医療界の本音トーク	古屋 聡	81
-----------------------------------	------	----

## IV 原著論文

1. 統合失調症患者におけるリスクを分類する認知の枠組み .....	小野 弘, 里村恵子	84
2. インフォームド・コンセント説明文書のわかりやすさと 情緒的配慮の記述が患者アウトカムに与える影響 ——大学生を対象とした調査——	野呂幾久子, 邑本俊亮	102

3. 母親の妊娠・出産・育児にまつわる体験の『語り』の意味づけ ——育児経験のある助産師によるナラティブ・アプローチ—— .....川村千恵子, 石原あや, 森圭子	117
--	-----

## V 総説

がん患者に対する認知行動療法的介入 ——筆記表現の文献学的検討——.....安芸かおり	134
--	-----

## VI 研究ノート

筋萎縮性側索硬化症の告知に関する患者の要望 ——質問紙調査における自由記述の内容分析——.....森 朋子	150
--	-----

## VII 鍵概念

1. 医療通訳.....灘光洋子	161
2. SAT 療法.....橋本佐由理	169

## VIII 学会関連記事

第23回日本保健医療行動科学会学術大会を終えて.....	176
北海道支部研究会報告.....	179
東京支部研究会報告.....	182
近畿支部研究会報告.....	185
平成21年度日本保健医療行動科学会認定健康行動科学士研修について.....	190
日本保健医療行動科学会研修会の経費に関する会計内規.....	199
日本保健医療行動科学会設立趣意書.....	201
日本保健医療行動科学会会則.....	202
日本保健医療行動科学会理事・監事選出規約.....	207
日本保健医療行動科学会中川記念奨励賞内規.....	209

---

日本保健医療行動科学会中川記念奨励賞候補者の業績についての選考内規	210
日本保健医療行動科学会奨励研究員内規	211
日本保健医療行動科学会年報投稿規定	213
日本保健医療行動科学会年報バックナンバーのご案内	219
日本保健医療行動科学会役員・委員会構成	220
〈編集後記〉	
〈英文目次〉	